

本校の沿革

区分	年代	ことごと
江戸時代	嘉永 安政 慶応	永雲山塾できる。(上宮地、井崎氏) 方来舎塾(二の町、蓑田氏)ならびに温故齊塾(島田村、黒瀬氏)ひらく。 松本塾(六田村、松本氏)、井津野塾(木原村)ひらく。
明治時代	明治	<p>鳳朔塾、下官地熊仁寺にできる。</p> <p>2 学制発布(8月3日=新暦9月5日) 中官地字祇園寺に公立学校隈庄北校できる。方来舎その他の塾は、南校、鳳朔校、宮地校、六日校、島田校と呼ぶ</p> <p>5 小学私塾となる。 この年に下益城郡内の公立小学校は38校となる。</p> <p>7 西南戦争のため、各学校とも長期の休校を実施する。 祇園寺に元手永会所の建物を移し改築、北校を隈地学校と改称、南校(二の町)を支校、宮地校及び鳳朔校を分校となす。六田学校が木原分校の支校、島田学校がその分校となる。</p> <p>8 熊本県学則を公布、従前の小学2段階を下等・中等・高等の3段階に分ける。</p> <p>10 公立学校教則公布さる。</p> <p>11 文部省小学校教則綱領の布達によって、下等・中等・高等科計8年制となる。 隈南支校、宮地ならびに隈地本校に結合合併校名を城陽学校となす。 木原学校が雁国学校に改称、本校を六日村に移して、木原支校となり島田学校を分校とする。(6月15日)</p> <p>13 新小学校令の公布により、尋常科高等科が各4年制となり、尋常科が義務教育となる。</p> <p>14 この年、城陽学校が尋常城陽小学校となる。</p> <p>18 郡内10ヶ町村組合立の高等下益城小学校の設立認可おける。(8月19日) 尋常城陽小学校において、高等下益城小学校の仮開業式を挙げる。(12月24日)</p> <p>19 高等下益城小学校始業式、生徒数、男70、女5、計75名 町村制施行により「隈庄町」が誕生(4月)尋常城陽小学校に萱木分校できる。</p> <p>20 新小学校令公布(10月) 校名を隈庄尋常小学校に改める。高等下益城小学校も下益城小学校に変わる。</p> <p>21 六田学校(雁回小学校のうち)隈庄尋常小学校に統合する。(6月)</p> <p>22 小学校令改正(8月)小学校令施行に関する県の規定できる。</p> <p>23 新校舎建築工事着工(8月)</p> <p>27 新校舎落成(1月8日)</p> <p>32 高等科(2年制)併設により、隈庄尋常小学校となる。(4月)</p> <p>33 この年限庄榎津往還完成する。</p> <p>34 小学校令改正(3月)</p> <p>35 小学校令改正によって、高等科を廃止して義務教育が6年制となる。この年下益城高等小学校も3年制になる。(4月) 校名が隈庄尋常小学校となる。校舎一棟二階付増築、運動場も拡張する。</p> <p>40</p> <p>41</p>
大正時代	大正8	<p>小学校令改正(2月7日)</p> <p>組合立下益城高等小学校廃校(3月)小学校令施行規則改正(3月29日)</p> <p>12 下益城高等小学校跡に新校舎を改築移転する。</p> <p>15 青年訓練所令公布(4月20日)幼稚園令公布(4月22日) 小学校令及び同施行規則を改正(4月22日) 隈庄青年訓練所及び補習学校が校内に併設される。(5月)</p>

昭 和 時 代	<p>校庭に奉安殿できる。</p> <p>6 町立限庄幼稚園設置(4月10日)</p> <p>7 「小学校国語読本尋常小学校」など国定教科書使用開始(4月)</p> <p>8 青年学校令公布により、町立青年学校を校内に併設(4月)</p> <p>10 校舎大改築着工(7月)校舎改築落成式(10月19日)</p> <p>11 このころ運動場を東側に拡張する。</p> <p>14 国民学校令公布(小学校令を改定)(3月1日)</p> <p>16 国民学校施行規則制定(3月14日)限庄国民学校と改称。(4月1日) 西部 2791 部隊吉岡隊に校舎の一部貸与(4月27日)</p> <p>20 空襲により、校舎全部を焼失(8月10日) 教育基本法及び学校教育法公布(3月31日)校舎新築工事着工(2月)</p> <p>22 新学期より、小中学校が分離して限庄小学校改称。(4月1日) 第1校舎完成(5月)第2校舎西側増築工事着工(5月 倉重組)</p> <p>23 教育委員会発足(11月1日)第2校舎西側増築工事落成(11月) 第2校舎東側増築工事着工(10月 坂口組)</p> <p>25 学校教育法施行令公布(10月31日)</p> <p>28 町村合併(限庄町、杉上村、豊田村)により「城南町」誕生(3月1日) 城南町立限庄小学校となる。(4月1日)</p> <p>30 第2校舎東側音楽教室増築工事着工(12月)</p> <p>31 第2校舎東側音楽教室増築工事落成(3月)</p> <p>33 給食室新築工事落成(3月)学校給食を限庄小学校で開始する。(4月)</p> <p>35 児童数減少により16学級となる。児童数680名</p> <p>36 児童数減少634名となり、15学級</p> <p>37 体育倉庫、木造20mできる。(9月)特殊学級1学級できる。計16学級</p> <p>40 児童数減少により計14学級</p> <p>41 特殊学級1学級増加、計14学級</p> <p>43 この年1学級増加により15学級となる。NHK合唱コンクール出場</p> <p>44 RKK音楽コンクール出場</p> <p>45 第27代、大村寛校長 S46.4～49.3 児童数減少により14学級となる。合唱コンクール城南大会入賞</p> <p>46 児童数399名(5月1日)普通学級12、特殊学級2計14学級 教育委員会から算数の研究委嘱を受ける。</p> <p>48 第28代、川上喜徳校長 S49.4～51.3</p> <p>49 児童数388名、普通学級12、特殊学級2、計14学級 2カ年にわたり算数の研究発表をなす。 創立百周年記念施行さる。(12月1日) 児童数391名(5月1日)普通学級12、特殊学級2計14学級</p> <p>50 熊日学童スケッチ大会優秀学校賞受賞 1期工事着工(特別教室、給食室、低学年棟、11月14日) 第29代、柿原弘信校長 S51.4～52.3 児童数381名(5月1日)普通学級12、特殊学級2計14学級</p> <p>51 2期工事着工(管理棟、中高学年棟、9月16日) 第30代、作森数雄校長 S52.4～53.3 児童数394名(5月1日)普通学級12、特殊学級2計14学級</p> <p>52 3期工事着工(屋内運動場、9月16日) 第31代、桑原俊一校長 S53.4～58.3 児童数387名(5月1日)普通学級12、特殊学級3計15学級</p> <p>53 視聴覚機器設備(3月20日)完成 屋内運動場焼失(6月18日) 児童数427名(5月1日)普通学級12、特殊学級2計14学級 屋内運動場再建落成(2月10日)</p> <p>54 児童数457名(5月1日)普通学級13、特殊学級1計14学級</p> <p>55 児童数496名(5月1日)普通学級14、特殊学級1計15学級</p> <p>56 普通教室3教室増築完成(特別教室棟3階)(3月13日) 児童数523名(5月1日)普通学級14、特殊学級1計15学級 プール建設工事開始(5月17日)プール竣工(8月26日)</p> <p>57 26日)</p> <p>58 第32代、内野達也校長 S58.4～60.3 児童数540名(5月1日)普通学級14、特殊学級1計15学級</p> <p>59 児童数557名(5月1日)普通学級15、特殊学級1計16学級</p> <p>60 第33代、米林博正校長 S60.4～62.3 児童数543名(5月1日)普通学級15、特殊学級1計16学級 運動場の敷地完成、校内外周フェンス工事完成</p> <p>61 児童数525名(5月1日)普通学級14、特殊学級1計15学級</p> <p>62 第34代、伊津野巖校長 S62.4～H1.3 児童数503名(5月1日)普通学級14、特殊学級1計15学級 屋上雨漏工事完成(8月)</p> <p>63 児童数498名(5月1日)普通学級14、特殊学級1計15学級</p>
------------------	--

平成時代	平成	第 35 代、宮川行志校長 H1.4~3.3 児童数 483 名(5 月 1 日)普通学級 14、特殊学級 1 計 15 学級
	1	体育館のステージ壁張替、3 の 2・3 の 3 床張替(8 月) 県指定研究発表(12 月 6 日)「豊かなところと確かな学力をもったこどもの育成」 児童数 497 名(4 月 9 日)普通学級 16、特殊学級 1 計 17 学級
	2	第 36 代、小原弘行校長 H3.4~4.3 児童数の増加に伴い、4 教室増築
	3	児童数 517 名(4 月 8 日)普通学級 17、特殊学級 1 計 18 学級
		台風 19 号(9 月 29 日)による被害大(体育館外壁、校舎ガラス破損 100 余枚、新校舎屋根、北側瓦全破他)~被害総額約 200 万円
	4	第 37 代、後藤善治校長 H4.4~7.3 児童数 533 名(4 月 8 日)普通学級 17、特殊学級 1 計 18 学級 児童数 562 名(4 月 8 日)普通学級 18、特殊学級 1 計 19 学級
	5	児童数 536 名(4 月 8 日)普通学級 18、特殊学級なくなる。
	6	第 38 代、伊津野馨校長 H7.4~8.3 児童数 588 名(4 月 10 日)普通学級 18、特殊学級(難聴 1)計 19 学級
	7	第 39 代、小原弘行校長 H8.4~10.3 児童数 583 名(4 月 9 日)普通学級 18、特殊学級(難聴 1)計 19 学級
	8	ボランティア普及事業協力校(~H10 年度)の指定を受ける。 児童数 582 名(4 月 9 日)普通学級 18、特殊学級(難聴 1、精薄 1)2 計 20 学級
	9	第 40 代、長田政敏校長 H10.4~10.10 児童数 577 名(4 月 9 日)普通学級 18、特殊学級(難聴 1、精薄 1)2 計 20 学級
	10	第 41 代、池田孝典校長 H10.10~13.3
	11	児童数 556 名(4 月 9 日)普通学級 18、特殊学級(知的障害 1) 計 19 学級 台風 18 号(9 月 24 日)による被害大(校舎ガラス破損 60 余枚、新校舎屋根、南側瓦破損、校舎隣接の樹木倒壊他)被害総額約 370 万円 県科学研究所展示会(入賞 15 回)学校賞を受賞(11 月)
	12	児童数 531 名(4 月 11 日)普通学級 18、特殊学級(知的障害 1) 計 19 学級 県科学物展示会(入賞 15 回)学校賞を受賞(11 月) 給食棟工事着工(11 月 2 日)給食棟工事完成(H13.3 月 2 日)
	13	第 42 代、浦川司校長 H13.4~16.3 児童数 502 名(4 月 10 日)普通学級 17、特殊学級(知的障害 1) 計 18 学級 正門の移動(南へ 10m)(7 月)、児童昇降口前の舗装(8 月)
	14	児童数 506 名(4 月 9 日)普通学級 17、特殊学級(知的障害 1)計 18 学級 非常用通報器設置(8 月 26 日)
	15	児童数 477 名(4 月 9 日)普通学級 16、特殊学級(知的障害 1) 計 17 学級 交通安全リーダー証交付式に潮谷県知事来校(5 月 1 日)、非常用通報器(8 月 26 日)
	16	第 43 代、増田直澄校長 H16.4-18.3 児童数 472 名(4 月 9 日)普通学級 17、特殊学級(知的障害 1) 計 18 学級 南門の門柱改修(8 月)、水道水浄化装置設置(10 月) 児童数 460 名(4 月 11 日)普通学級 16、特殊学級(知的障害 1) 計 17 学級
	17	第 44 代、高田勝彦校長 H18.4~20.3 児童数 445 名(4 月 11 日)普通学級 13、特殊学級(知的障害 1) 計 14 学級
	18	学力向上拠点形成事業(文科省)実践研究推進校に指定(H17~19) 児童数 430 名(4 月 10 日)普通学級 12、特別支援学級(知的障害 1、情緒障害 1) 計 14 学級
	19	文部科学省「学力向上拠点形成事業研究発表会」(11 月 9 日)
	20	第 45 代、岳元さよ子校長 H20.4~ 児童数 423 名(4 月 9 日)普通学級 13、特別支援学級(知的障害 1、情緒障害 1) 計 15 学級
	21	児童数 440 名(4 月 9 日)普通学級 14、特別支援学級(知的障害 1、自閉的・情緒障害 1)計 16 学級 校舎外壁・屋根等防水工事(6 月 13 日~9 月 8 日) 新型インフルエンザ流行に伴う休校措置(11 月 13 日~11 月 16 日) 新型インフルエンザ流行に伴う収穫祭中止(12 月 6 日) 中庭整備工事(12 月 26 日~2 月 26 日) 開校 135 周年記念全校児童航空写真撮影(1 月 28 日) 地上デジタル化対応 TV・プール濾過機設置作業(2 月 10 日~11 日) 体育館床改修工事(2 月 22 日~3 月 2 日) 熊本市・城南町・植木町 1 市 2 町の合併に伴う校名変更「熊本市立隈庄小学校」(3 月 23 日)
	22	第 46 代、小原 巧校長 H22.4~ 児童数 453 名(4 月 12 日)普通学級 15、特別支援学級 2(知的障害 1、情緒障害 1)計 17 学級
	23	児童数 461 名(4 月 12 日)普通学級 16、特別支援学級 2(知的障害 1、情緒障害 1)計 18 学級 体育館雨漏り改修工事(12/12~12/19) 普通教室・特別教室固定扇風機取り付け作業(1/30~3/1) 防災表示(3 階校舎屋上に校名表示)作業(3/6~3/7)
	24	第 47 代 岡田恒雄校長 H24.4~ 児童数 478 名(4 月 11 日)普通学級 16、特別支援学級 2(知的障害 1、自閉・情緒障害 1)計 18 学級
	25	児童数 533 名(4 月 10 日)普通学級 17、特別支援学級 4(知的障害 1、自閉・情緒障害 2、肢体不自由 1)計 21 学級
26	児童数 560 名(4 月 9 日)普通学級 18、特別支援学級 4(知的障害 1、自閉・情緒障害 2、肢体不自由 1)計 22 学級	
27	第 48 代 永田誠一郎校長 H27.4~ 児童数 590 名(5 月 1 日)普通学級 19、特別支援学級 5(知的障害 2、自閉・情緒障害 2、肢体不自由 1)計 24 学級	

- | | | |
|--|--|--|
| | | <p>28 児童数 588 名(4月 12 日)普通学級19、特別支援学級5(知的障害2、自閉・情緒障害2、肢体不自由1)計24学級</p> <p>29 第 49 代 齊藤正信校長 H29.4～
児童数 629 名(5月 1 日)普通学級20、特別支援学級6(知的障害2、自閉・情緒障害3、肢体不自由1)計26学級</p> <p>30 児童数 694 名(5月 1 日)普通学級22、特別支援学級6(知的障害2、自閉・情緒障害3、肢体不自由1)計28学級</p> <p>31 第 50 代 林田武昭校長 H31. 4～
プレハブ3棟設置
児童数727名(5月 1 日)普通学級22、特別支援学級5(知的障害2、自閉・情緒障害3、肢体不自由0)計27学級</p> |
|--|--|--|